

(第2号様式)

島特第 1749 号
令和7年 3月10日

沖縄県教育委員会教育長 殿

沖縄県島尻特別支援学校
校長 中山充雄
(公印省略)

令和6年度県立学校学校評議員の運営状況について(報告)

令和6年12月11日付け教県第1582号により依頼のありましたみだしについて、下記のとおり報告します。

記

1 日時、場所、出席状況等

第1回	日時	令和6年7月3日	場所	県立島尻特別支援学校 大会議室	出席 状況	5名(全員出席)
第2回	日時	令和6年12月2日	場所	県立島尻特別支援学校 大会議室	出席 状況	3名(2名欠席)
第3回	日時	令和7年2月25日	場所	県立島尻特別支援学校 大会議室	出席 状況	5名(全員出席)

2 学校評議員に求めた事項

- (1)本校教育活動等に関する意見聴取
 - ①学校運営方針等について
 - ②各学部及び真和志高等学校分教室(ゆい教室)における教育活動等について
 - ③教育支援、進路指導、環境整備、寄宿舎等における取り組みについて
 - ④校内施設整備の目視確認及び学校給食の試食
- (2)学校評価に関すること
 - ①学校評価の内容等に関する協議、学校評価の回答

3 学校評議員の意見

- (1)学校経営方針の内容を全職員で共有し、組織として一丸となって学校を盛り上げてほしい。
- (2)法改正が進み、今後の福祉事業所の在り方も変わる。学校でも情報をアップデートしてほしい。
- (3)島尻特別支援学校は、知肢併設校であるため、さらなる自己研鑽に努めてほしい。
- (4)児童生徒自身が選択する(自分のことを考える)機会を多く提供してほしい。
- (5)今の世の中は「見える化」が大事である。改善すべきところはしていったほしい。先生方が見ている目線と児童生徒の目線は違うこともあるため、しっかり考察してほしい。

4 学校運営に反映した事項

- (1)教科別指導の成果と課題の整理、研修及び研究活動をととした教育課程の充実と専門性の向上。
- (2)就労や卒業後の生活を見据えた在学期間を通した基本的生活習慣の定着
- (3)交流及び共同学習の充実及び特別支援学校のセンター的機能の発揮を通した地域連携の推進。
- (4)本校の現状をふまえた働き方改革の推進
- (5)学校からのお便り以外に面談や座談会等をととした情報発信

5 課題その他

- (1)職員の求める「ゆとりある時間」について分析し、本校の現状におけ働き方改革の推進
- (2)知的障害教育及び肢体不自由教育の充実に向けた教育課程及び環境の設定(施設整備を含む)
- (3)教職員の専門性向上を図るための研修内容の検討、計画実施
- (4)保護者及び地域との連携協働した教育活動の実施
- (5)保護者同士をつなぐ機会や場の設定